

---

# 寄生虫検査

# 寄生虫検査(学校保健分野)の実施成績

東京都予防医学協会検査研究センター・地域保健部

## 実施状況

2004(平成16)年度はぎょう虫卵検査のみを76,467件(寄生率0.44%)実施した。

東京都予防医学協会の前身である東京寄生虫予防協会では、糞便検査を主体とする検査機関として、1949(昭和24)年に発足した。それ以来、1969年頃までは糞便検査を年間93~55万件実施してきた。その後、1959年からは、ぎょう虫卵検査を糞便検査と併行して実施するようになったが、検査数は1964年までは糞便検査の割合が圧倒的に多かった。しかし、1970年に糞便検査が629,082件、ぎょう虫卵検査が706,480件と初めて逆転してからは、ぎょう虫卵検査が多くなった。

そして、1973年には、学校保健法が改正され、翌1974年から中学校以上の寄生虫検査(ことに糞便検査)実施の義務づけが省略されたこともあって、検査数が大きく減少した。さらに、1994年には、再び学校保健法が改正されて、ぎょう虫卵検査が小学校低学年のみの実施で良いということになったことと、近年の児童生徒数の減少とあいまって、ここ数年は検査数が減り続けた。2002年度からは糞便検査は全く実施されなくなり、本年度はぎょう虫卵検査76,467件のみの実施となった。(表1 P64)

表2には、ぎょう虫卵検査の対象別、地区別の総合成績を示した。例年と同様に、小学校が寄生率0.51%であり、幼稚園・保育園の0.16%に比べて高かった。また、区部と多摩地区の寄生率の差はほとんどなく、島しょ地区においては保卵者は見つからなかった。

幼稚園・保育園の地区別成績を表3に示した。都内25地区のうち、15地区で寄生率が0%であったが、杉並区では1.11%と寄生率が高かった。

小学校の地区別成績を表4に示した。都内20地区のうち、7地区で寄生率が0%であったが、その一方で、あきる野市0.76%、墨田区0.75%と寄生率が高かった。

表5には、幼稚園・保育園、小学校を含めた地区別成績を示した。都内34地区のうち、15地区で寄生率が0%であった。しかし、あきる野市0.76%、渋谷区0.68%、墨田区0.65%、板橋区0.63%などで寄生率が高かった。

表1には、1949年から2004年までの寄生虫検査の年度別検査件数を示した。糞便とぎょう虫検査の合計数は、1962年に100万件を初めて突破し、以後1969年に1,347,414件でピークに達した。その後も、

表2 ぎょう虫卵検査成績

(2004年度)					
区分	地区名	学校数	被検査者数	保卵者数	寄生率 %
幼稚園 保育園	特別区	131	12,319	21	0.17
	三多摩	25	2,669	4	0.15
	島しょ	6	220	0	0.00
	計	162	15,208	25	0.16
小学校	特別区	190	44,890	227	0.51
	三多摩	47	15,672	83	0.53
	島しょ	4	578	0	0.00
	計	241	61,140	310	0.51
養護学校 特殊学校	特別区	3	68	0	0.00
	三多摩	1	51	0	0.00
	計	4	119	0	0.00
合計	特別区	324	57,277	248	0.43
	三多摩	73	18,392	87	0.47
	島しょ	10	798	0	0.00
	計	407	76,467	335	0.44

1972年までは100万件台を維持していたが、児童生徒数の減少とともに検査件数も減り始め、1973年には

90万件となり、その後も年々減少し続け、1986年には40万件以下に、2002年には10万件を下回り、昨年度は7万件台にまで減少した。

表3 幼稚園・保育園地区別ぎょう虫卵検査成績

(2004年度)				
地区	学校数	検査者数	保卵者数	保卵率%
千代田区	1	108	0	0.00
港区	7	749	2	0.27
新宿区	4	484	0	0.00
文京区	15	1,142	1	0.09
台東区	26	2,603	2	0.08
墨田区	25	699	0	0.00
江東区	5	359	0	0.00
目黒区	5	357	0	0.00
大田区	11	955	3	0.31
世田谷区	7	1,051	3	0.29
中野区	1	224	0	0.00
杉並区	6	718	8	1.11
豊島区	2	250	0	0.00
北区	4	206	1	0.49
板橋区	2	197	0	0.00
足立区	3	605	1	0.17
江戸川区	7	1,612	0	0.00
区部計	131	12,319	21	0.17
八王子市	4	251	0	0.00
府中市	3	54	0	0.00
調布市	1	56	0	0.00
国分寺市	1	314	0	0.00
国立市	1	76	0	0.00
稲城市	3	1,001	2	0.20
日の出町	12	917	2	0.22
多摩計	25	2,669	4	0.15
八丈町	6	220	0	0.00
島しょ計	6	220	0	0.00
合計	162	15,208	25	0.16

表4 小学校地区別ぎょう虫卵検査成績

(2004年度)				
地区	学校数	検査者数	保卵者数	保卵率%
千代田区	1	490	0	0.00
文京区	22	6,962	39	0.56
台東区	20	3,045	17	0.56
墨田区	28	4,516	34	0.75
目黒区	23	4,384	10	0.23
大田区	33	11,434	48	0.42
世田谷区	2	705	1	0.14
渋谷区	1	589	4	0.68
杉並区	2	700	0	0.00
豊島区	2	690	1	0.14
板橋区	56	11,375	73	0.64
区部計	190	44,890	227	0.51
武蔵野市	1	340	0	0.00
昭島市	1	146	0	0.00
調布市	21	9,765	53	0.54
小平市	1	664	3	0.45
東大和市	10	2,265	9	0.40
あきる野市	12	2,369	18	0.76
檜原村	1	123	0	0.00
多摩計	47	15,672	83	0.53
新島	3	63	0	0.00
八丈	1	515	0	0.00
島しょ計	4	578	0	0.00
合計	241	61,140	310	0.51

本年度は、実施地区が一部加わり昨年度より約5,000件多い76,467件の実施であった。これは、ぎょう虫卵検査のピーク時の1971年759,557件の10.1%に相当する。また、寄生率も1999年から1%を下回るようになり、本年度は0.44%と昨年と同様に0.5%を下回った。

図1 (P65)には、1975年から2004年までの年度別・虫卵別の寄生率の推移を示したが、年度により発見虫卵と寄生率には大きな変化が見られる。

表5 地区別ぎょう虫卵検査成績

(2004年度)				
地区	学校数	検査者数	保卵者数	保卵率%
千代田区	2	598	0	0.00
港区	7	749	2	0.27
新宿区	4	484	0	0.00
文京区	39	8,149	40	0.49
台東区	46	5,648	19	0.34
墨田区	53	5,215	34	0.65
江東区	5	359	0	0.00
目黒区	28	4,741	10	0.21
大田区	44	12,389	51	0.41
世田谷区	9	1,756	4	0.23
渋谷区	1	589	4	0.68
中野区	1	224	0	0.00
杉並区	8	1,418	8	0.56
豊島区	4	940	1	0.11
北区	4	206	1	0.49
板橋区	59	11,595	73	0.63
足立区	3	605	1	0.17
江戸川区	7	1,612	0	0.00
区部計	324	57,277	248	0.43
八王子市	4	251	0	0.00
武蔵野市	1	340	0	0.00
府中市	3	54	0	0.00
昭島市	1	146	0	0.00
調布市	22	9,821	53	0.54
町田市	1	51	0	0.00
小平市	1	664	3	0.45
国分寺市	1	314	0	0.00
国立市	1	76	0	0.00
東大和市	10	2,265	9	0.40
稲城市	3	1,001	2	0.20
日の出町	12	917	2	0.22
檜原村	1	123	0	0.00
あきる野市	12	2,369	18	0.76
多摩計	73	18,392	87	0.47
新島	3	63	0	0.00
八丈	7	735	0	0.00
島しょ計	10	798	0	0.00
合計	407	76,467	335	0.44

表1 Annual Number of Examined (年次別検査件数)  
by Tokyo Health Service Association

(1949～2004年度)

Year (年)	Number (実施件数)				Total (合計)
	Stool Smear Examination (糞便検査)	Positive rate % (寄生率)	Scotch Tape Technic (ピンテープ法)	Positive rate % (寄生率)	
1949	101,875	72.0 %		%	101,875
1950 (昭和25年)	282,100	61.4			282,100
1951	428,055	50.4			428,055
1952	428,071	41.5			428,071
1953	470,703	32.0			470,703
1954	506,713	22.3			506,713
1955 (昭和30年)	491,039	15.3	302	28.5	491,341
1956	514,081	12.9	1,587	35.3	515,668
1957	557,384	14.4			557,384
1958	697,378	11.6			697,378
1959	735,510	8.9	21,247	25.6	756,757
1960 (昭和35年)	867,087	6.8	34,243	22.3	901,330
1961	927,762	6.3	70,971	21.7	998,733
1962	931,302	4.5	112,556	17.0	1,046,093
1963	783,375	3.8	277,739	16.3	1,077,822
1964	812,016	2.8	397,560	13.6	1,209,576
1965 (昭和40年)	784,412	1.9	445,109	9.6	1,229,521
1966	751,739	1.7	518,585	7.6	1,270,324
1967	717,336	0.7	549,662	6.6	1,279,375
1968	687,148	0.7	581,316	7.7	1,268,462
1969	683,067	0.59	664,347	6.5	1,347,414
1970 (昭和45年)	629,082	0.42	706,480	5.2	1,335,562
1971	546,521	0.44	759,557	4.96	1,306,078
1972	392,748	0.26	746,203	4.13	1,138,951
1973	238,173	0.19	656,517	3.68	894,690
1974	80,046	0.28	558,560	3.36	638,606
1975 (昭和50年)	64,730	0.30	461,791	3.39	526,521
1976	53,957	0.51	451,184	3.38	505,141
1977	52,820	0.59	452,227	2.98	505,047
1978	52,534	0.16	463,692	3.07	516,226
1979	52,312	0.10	488,099	3.05	540,411
1980 (昭和55年)	47,373	0.13	480,701	3.20	528,074
1981	47,498	0.15	473,859	3.24	521,357
1982	34,414	0.08	418,115	2.89	452,529
1983	40,454	0.10	432,502	2.60	472,956
1984	37,986	0.08	414,924	2.32	452,910
1985 (昭和60年)	31,431	0.09	385,718	2.02	417,149
1986	22,073	0.07	369,160	2.39	391,233
1987	19,802	0.05	350,179	2.40	369,981
1988	17,677	0.02	332,496	2.09	350,173
1989	17,574	0.02	322,507	2.17	340,081
1990	15,889	0.09	297,308	2.07	313,197
1991	11,858	0.03	266,181	2.18	278,039
1992	12,305	0.11	253,324	2.16	265,629
1993 (平成5年)	9,767	0.08	242,075	1.93	251,842
1994	9,626	0.07	221,650	2.03	231,276
1995	2,485	0.08	180,739	2.06	183,224
1996	1,932	0.05	177,274	1.57	179,206
1997	1,937	0.41	150,673	1.26	152,610
1998 (平成10年)	1,957	0.20	144,269	1.15	146,226
1999	2,052	0.05	140,851	0.93	142,903
2000	2,110	0.09	138,585	0.79	140,695
2001	672	0.00	112,364	0.62	113,036
2002	0		91,861	0.57	91,861
2003 (平成15年)	0		71,576	0.42	71,576
2004	0		76,467	0.44	76,467

図1 寄生虫卵別の検出率の年次推移

(1975~2004年度)

